

おおむた 市議会だより

平成23年度
第4回臨時会
第5回定例会
第179号

平成24年(2012年)
2月1日発行

インターネット議会中継配信中

市議会のホームページはこちら <http://www.city.omuta.lg.jp/shigikai/>

大牟田市議会

検索



●市民の思いを行政へ

議会報告会の意見集約(2・3ページ)

●市長3期目の決意を問う

代表質問、一般質問(7ページ～)

●議員研修 ～資質向上を目指しています～

トピックス(12ページ)

普光寺の臥龍梅 もともとは1本の株

福岡県の天然記念物に指定されています。伸びた枝が下がって地面につき、根を伸ばして株を増やしてをくりかえし、広がった梅は現在17株。樹齢は400年以上といわれています。2月下旬～3月上旬が見ごろです。

も く じ

■ぎかいのわだい…………… 2

市民の思いを行政へ ～議会報告会の意見集約～
【連載】議員のよこ顔

■委員会レポートほか…………… 4

都市環境経済委員会、総務委員会、教育厚生委員会、
議会改革特別委員会、議会日誌、他議会からの行政視察

■本会議運営のあらまし、議案等の審議結果 …… 6

第4回臨時会、第5回定例会

■発言者通告一覧…………… 7

■代表質問…………… 8

代表質問(5人)

■一般質問…………… 10

一般質問(6人)

■トピックス…………… 12

議員研修 ～資質向上を目指しています～
インフォメーション、編集後記



議会報告会の 意見集約

市民の思いを

昨年10月に市内8カ所で開催した議会報告会で寄せられた意見・要望を集約・分類しました。今後はホームページなどを通じて、広く公表していきます。



吉野地区公民館（10月19日）



手鎌地区公民館（10月20日）

■議会報告会での意見・要望等の概要

分類に当たっては以下のとおり集約し、類似の意見はまとめています（分類①～④の大きな項目のみ掲載）。

分類	説 明	項 目
分類①	市行政に関する発言 市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの	- 世界遺産登録推進事業について（詳細右記） - その他（光ケーブル回線未設置地域について）
分類②	市行政に関する発言 発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行うとともに市当局につなぐ方がよいとするもの	- 中心市街地に関係すること - 世界遺産登録推進に関係すること - 新大牟田駅に関係すること - 学校に関係すること - 地区公民館など市の施設に関係すること - 市の財政に関係すること - 地域コミュニティに関係すること - 本会議に関係すること - 国・県の事業に関係すること - その他
分類③	議会に関する発言 市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの	- 行政視察に関係すること - 議会報告会に関係すること - 議会の運営に関係すること - 広報啓発に関係すること - その他
分類④	議会に関する発言 発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行う方がよいとするもの	- 行政視察に関係すること - 世界遺産登録事業に関係すること - 中心市街地に関係すること - 議会報告会に関係すること - 議員の報酬・定数、市政調査研究費に関係すること - 議会・議員の姿勢に関係すること - 議会だよりに関係すること
分類	説 明	
分類⑤	個人的な陳情の類の発言で、関係する部署等を案内するか、または個別対応したもの	
分類⑥	その他	

■世界遺産登録推進関連事業に関する決議案を議決

議会報告会で出された分類①、世界遺産登録推進事業に関する市民意見について、12月7日と21日の総務委員会で活発な委員間討議を行い、意見集約を行いました。

委員会では、三池炭鉱関連資産の世界遺産への登録については、本市の炭鉱の歴史を後世に伝承していく上でも進めていくべきとしながらも、まだ市民の理解や支持が得られているとは認めがたいとして、

- ①計画の全体像について
- ②事業推進のための予算について
- ③市民周知について



以上の三点について、市の対応を

求めていくべきだということを委員全員で確認し、議長に報告しました。市議会としては、12月26日の本会議において決議案を提出し、議員全員の賛成で可決しました（決議文は3ページに掲載）。決議として可決した以上、議会も同事業に対しては、引き続き責任ある対応を図っていきます。

今後も、市民の皆さんの意見や要望を市政に反映していける身近な議会を目指していきます。

議員のよこ顔(その3)

徳永 春男
議 員

①55歳 ②倉永 ③石造アーチ橋の探索

市内では早鐘眼鏡橋、陣屋眼鏡橋が歴史的に価値のあるものなので見てみて下さい ④自然流 ⑤生活環境や自然環境に恵まれているところ ⑥構想は頭に描いているのですが、いざ実行するときは、その瞬間のひらめきで動いてしまうのが長所であり短所ですね

橋積 和雄
議 員

①58歳 ②今山 ③4人の孫と遊ぶこと

イオンに夫婦割引で映画を見に行くこと ④明けない夜はない ⑤三池山、有明海などの豊かな自然 ⑥さっぱりとした性格

行政へ

今後の議会活動に
活かします

■報告会参加者の約6割が内容に満足、約8割が市議会への関心を持つ ～アンケートより

今回の議会報告会には、8会場で延べ159人に参加いただき、154人の方にアンケートの協力をいただきました。

報告会の内容については「満足」「やや満足」と回答した人が合わせて63.6%でした。また、この報告会で市議会への関心を「もてた」「少しもてた」と回答した人が81.9%と8割を超えるなど、議会報告会への一定の評価はいただいたものと考えます。

しかし、20代、30代の参加が全体の3.2%であるなど、若い世代の参加が低調だったことも踏まえ、次回はより多くの方に参加していただけるよう、今回のアンケート結果を参考にしながら、よりよい報告会を目指します。

議会報告会アンケート結果 (抜粋) 回答数154

- 年代
20代(0.6%) 30代(2.6%)
40代(8.4%) 50代(20.1%)
60代(37.0%) 70代～(31.2%)
- 内容について
満足(22.7%)
やや満足(40.9%)
どちらでもない(22.7%)
やや不満(5.8%)
不満(1.9%)
無回答(5.8%)
- 市議会に関心が
もてた(40.3%)
少しもてた(41.6%)
どちらでもない(9.1%)
もてなかった(2.6%)
無回答(6.5%)

世界遺産登録推進関連事業に関する決議

三池炭鉱関連資産の世界遺産への登録については、本市の炭鉱の歴史を後世に伝承していく上でも必要であり、引き続き進めていくべきである。

しかし、議会報告会を初めとする市民意見を踏まえると、本事業に対して多くの市民の理解や支持が得られているとまでは認めがたいため、市長におかれては、以下の事項について対応を図られるよう要望する。

1. 本事業の全体像については、観光振興面の整備に偏重することがないよう、本来の目的・趣旨、将来の維持管理計画、経済効果などのビジョンを取りまとめ、市民・議会へ公表すること。
 2. 本事業のための予算については、本市の厳しい財政状況や、必要な行政需要が山積していることにかんがみると、最小限に抑えるべきであり、費用対効果を検証して明確にすること。
 3. 市民周知については、1. 及び 2. に掲げた全体像と予算についての説明責任を果たすとともに、本事業に対する市民理解が得られ、世界遺産登録への機運が高まるよう努めること。
- 以上、決議する。

(番号の見方) ①年齢 ②住所 ③趣味・特技 ④座右の銘 ⑤大牟田のことが好き ⑥長所・短所など



平嶋 慶二
議員

①56歳 ②歴木 ③スズキ釣り(今は忙しく、パソコンゲームのみ) ④汝の道を行け
そして人の語るにまかせよ ⑤甘木山から
見る夜景は大変良いと思います ⑥長所は
気長で人の話をよく聞くとこ 短所はオ
ッチョコチョイなところ



平山 光子
議員

①64歳 ②倉永 ③なかなか上達しません
がフラダンスを楽しんでいます ④時々の
初心忘るべからず(世阿弥) 積み重ねた日々、
努力も忘れずに ⑤暖かいこと 安くてお
いしいお店が多いこと 大好きな人々が住
む故郷 ⑥不器用で単純 でも短所は長所、
個性だと開き直っています



平山 伸二
議員

①51歳 ②西宮浦町 ③音楽と映画鑑賞、
日曜大工 音楽は演歌・クラシック・ジャ
ズまで ④九思一言(孔子の言葉) ⑤海
あり、山あり、街あり、農漁業あり、すべ
てあるところ ⑥長所は食べ物の好き嫌い
が少ないこと、短所は気が短いところ



古庄 和秀
議員

①39歳 ②新栄町 ③パソコン 大学でプ
ログラムを勉強し、別府の授産施設で5年
間システム開発をしていました ④一球入
魂何事も一生懸命打ち込むという思いです
⑤あたたかい人が多いところ また大蛇山
では人の情熱が伝わり大牟田の元気をアピ
ールできる ⑥短所は気が短いところです

公共下水道計画について

都市環境経済委員会

■岬町地区の下水道整備に向けて

岬町地区は、再開発等促進区を定める地区計画によって商業施設、教育施設等の立地が可能となっており、大型商業施設イオンの開業、帝京大学の新学科開設の決定により、今後も諸施設の立地が見込める地区となっています。

同地区に下水道整備を行うためには、都市計画法の都市計画決定を経た後、下水道法及び都市計画法の下水道事業認可の取得が必要となります。

12月9日の委員会では、同地区の下水道事業認可を取得する前段として、既決定の2,853ヘクタールに今回の95ヘクタールを加えた2,948ヘクタールについて都市計画決定（市決定）の手続を行う旨の説明を受けました。

岬町地区の下水道整備に向けたスケジュール

1月5日～19日	原案の事前縦覧
1月26日	公聴会
3月中旬	計画案の縦覧
4月上旬	都市計画審議会
5月中旬	都市計画決定告示
6月初旬	下水道変更認可申請
10月下旬	下水道変更認可取得

●所管：会計課、企画総務部、市民部、消防、議会議務局、監査委員事務局、選挙管理委員会事務局、公平委員会事務局、他の常任委員会に属しない事項

帝京大学新学科開設をめぐる論戦

総務委員会

■旧ネイブルランド跡地の譲渡問題に言及

帝京大学の平成25年4月の医療系新学科開設の発表を受け、11月7日に開催した臨時会で、旧ネイブルランド跡地の建物解体及び整地のための費用である2億1,600万円の補正予算が提案されました。

この議案の審査は総務委員会に付託され、市民理解・合意の観点からも拙速にならず、市民論議や議会論議を尽くすべきだとする意見が出されたものの、①解体・造成工事の地元業者への優先発注、②複数の地元業者が工事を請け負えるような配慮、③財政支出の抑制、④地元医師会との連携、⑤卒業後の学生が地元に残れる体制整備、以上のような意見・要望を取りまとめ、本会議で全会一致で可決しました。（日本共産党議員団は

採決前に退席）

12月7日の委員会では、同学科開設に対する支援策として、建設予定地の無償譲渡と、必要な基盤整備を行うこと、並びに経済波及効果が示されました。

土地譲渡についての質疑で、無償貸与という余地はなかったのかという問いに対し、本市に根づいた大学運営が第一という認識で、大学側の土地の有効活用による積極的な設備投資と拡充への期待から無償譲渡を判断。

将来的なリスクの部分は、契約の段階で諸規定を盛り込むことを協議したいとの答弁を受けました。



解体工事が進む
旧ネイブルランド跡地

議会日誌（10月～12月）

月	日	会 議 名
10	18	議会報編集委員会、教育厚生委員会
	20	総務委員会
	24	決算特別委員会
	25	決算特別委員会
	26	決算特別委員会
	27	決算特別委員会
	28	決算特別委員会
	31	各派代表者会、議会運営委員会
11	7	第4回臨時会、総務委員会、議会運営委員会
	30	議会改革特別委員会
12	2	各派代表者会、議会運営委員会
	7	総務委員会、教育厚生委員会

月	日	会 議 名
12	9	議会報編集委員会、都市環境経済委員会
	12	第5回定例会本会議〔開会〕
	16	第5回定例会本会議〔質疑質問①〕
	19	第5回定例会本会議〔質疑質問②〕
	20	第5回定例会本会議〔質疑質問③〕、 請願等調整委員会
	21	総務委員会、教育厚生委員会、 都市環境経済委員会
	26	各派代表者会、議会運営委員会、 請願等調整委員会、
		第5回定例会本会議〔閉会〕、 議会報編集委員会、総務委員会

小規模特認校制度の導入

教育厚生委員会

■平成24年度から上内小学校で

10月18日の委員会で、小規模特認校制度の導入についての報告を受けました。小規模特認校制度とは、小規模化が進行している学校で、特色ある学校運営を進めつつ、通学区域の弾力化により、校区外からの児童の就学を認める制度です。平成24年度から、複式学級の見込みがある上内小学校に導入されます。

■大牟田市立病院院内保育所の開所

10月18日の委員会で、大牟田市立病院院内保育所の開所についての報告を受けました。市立病院に勤務する職員の雇用確保と定着を図り、病院事業の運営を円滑に行うことを目的として、職員の乳幼児（生後57日目から小学校就学前まで）の保育を行うための施設で、開所

日は23年12月1日です。

■陳情審査

12月7日の委員会で、大牟田市シルバー人材センター及び大牟田市母と女性教職員の会から、それぞれ陳情に伴う意見陳述があり、陳情審査を行いました。大牟田市シルバー人材センターの意見陳述では、前年度並みの補助金の交付、今後の補助金の確保や公共事業の発注への配慮等、シルバー事業へのさらなる支援・協力を要望されました。大牟田市母と女性教職員の会からの意見陳述では、小・中学校の30人以下学級の実現、学校施設設備充実のための教育予算拡充、全学年での少人数学級の早期実現、学童保育所の全校区への早期設置、学童保育所施設の充実と定員の増加等を要望されました。

●所管：議会改革に関すること

本市議会の取り組みが注目されています

議会改革特別委員会

■11団体、96名が視察

本市議会は、市民に開かれた身近な議会を目指すために、21年度に議会改革特別委員会を設置し、本格的に議会改革に取り組んできました。22年12月には、議会活動の基本的事項を定めた議会基本条例を全会一致で可決し、23年2月から施行したところです。

また、23年5月の改選後の臨時会では、同条例を推進するために新たな体制で同特別委員会を設置し、同条例に掲げる議会報告会の開催等に取り組んでいます。

全国で議会改革の動きが広がりを見せる中、本市議会の取り組みは注目を集め、近年、他議会等からの視察が増えています。同条例の施行後は、12月までに11の議会等から96名の方がお見えになり、本市議会の取

組みを参考としていられました。

本市議会は、現状に満足することなく、さらに同条例を推進することで、今後も新たな議会改革に取り組み、住みよいまちづくりのために力を注いでいきます。



議会改革の取り組みを説明する本特別委員会

他議会からの行政視察（10月～12月）

【10/4】大阪府四條畷市（子どもの居場所事業）【10/6】鳥取県米子市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）

【10/11】神奈川県座間市（議会改革）【10/13】兵庫県加古川市（エコサックセンター）【10/14】京都府長岡京市（小規模工事等希望者登録制度）【10/19】滋賀県彦根市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）【10/20】愛知県安城市（議会基本条例他）【10/21】栃木県小山市（地方独立行政法人大牟田市立病院）【10/31】滋賀県近江八

幡市（ランドデザイン）【11/1】千葉県八千代市（議会改革、市民協働）【11/2】千葉県印西市（エネルギーによる街の活性化、九州電力太陽光発電所）【11/8】愛知県西尾市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）

【11/9】岡山県瀬戸内市（議会改革）【11/10】静岡県掛川市（議会運営、議会基本条例）【11/16】福岡県柳川市（行財政改革）【11/24】北海道稚内市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業、三池港の地域振興事業）



本会議運営のあらまし

■一般会計補正予算 2億1,600万円を可決

第4回臨時会 平成23年11月臨時会は、11月7日に招集され、1日間の会期で運営しました。

本臨時会では、ネイブルランド跡地の建物の解体及び整地に要する経費について審議を行い、この一般会計補正予算1件を可決して、本臨時会を閉会しました。

■軽自動車税率を標準税率に戻す条例改正案を可決

第5回定例会 平成23年12月定例会は、12月12日に招集され、12月26日までの15日間の会期で運営しました。

本定例会で審議した議案等は、9月定例会で継続審査

となっていた決算の認定を初め、補正予算、条例の制定や一部改正、指定管理者の指定、公平委員会委員の選任などの議案33件、意見書案13件、世界遺産登録推進関連事業に関する決議案1件の、合わせて47件でした。

本会議では11名の議員が登壇し、3日間にわたり、市長を初め、執行部に質問しました。（8ページ以降に各議員の主な質問内容を掲載）

最終日の本会議までに、議会運営委員の選任や議員派遣の決定を行うとともに、議案等47件を認定、可決または同意して、本定例会を閉会しました。

議案等の審議結果

■認定

【賛成多数】賛成＝自民、公明、護憲、市民、城後

- 平成22年度大牟田市一般会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市土地区画整理事業特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市老人保健特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市水道事業会計決算の認定について
- 平成22年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について

■可決

【全会一致】賛成＝出席議員全員（※については共産退席）

- 平成23年度大牟田市一般会計補正予算（第4回臨時会分）※
- 平成23年度大牟田市一般会計補正予算（第5回定例会分）
- 大牟田市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市立学校施設整備基金条例の制定について
- 大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大牟田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の制定について
- 大牟田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- 指定管理者の指定について（大牟田学童保育所）
- 指定管理者の指定について（手鎌学童保育所）
- 指定管理者の指定について（駒馬北学童保育所）
- 指定管理者の指定について（明治学童保育所）

- 指定管理者の指定について（大牟田市障害者等文化体育施設サン・アビリティーズおおむた）
- 指定管理者の指定について（大牟田文化会館）
- 指定管理者の指定について（大牟田市立三池カルタ・歴史資料館及び大牟田市立図書館）
- 指定管理者の指定について（大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた）
- 指定管理者の指定について（大牟田市延命プール）
- 市道路線の認定及び廃止について
- 財産の処分について（旧大牟田市立三里小学校用地の一部）
- 財産の無償譲渡について（大牟田市歴木保育所の建物）
- 筑後地域消防通信指令事務協議会規約の制定に関する協議について
- ワクチン接種緊急促進事業の継続に係る意見書案
- 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書案
- 円高から中小企業を守る対策を求める意見書案
- 災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書案
- 鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書案
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書案
- 視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書案

- 骨格提言を尊重する障害者総合福祉法の制定を求める意見書案
- 世界遺産登録推進関連事業に関する決議案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、市民、共産、城後

- 子ども・子育て新システムに関する意見書案
- 年金制度の改悪の中止を求める意見書案

【賛成多数】賛成＝自民、公明、共産、城後

- 環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加に関する意見書案

【賛成多数】賛成＝公明、護憲、共産

- 介護保険に関する意見書案
- 原子力発電所の新・増設の中止と既設炉の廃炉処理の工程表を明確にすることを求める意見書案

■同意

【全会一致】賛成＝出席議員全員

大牟田市公平委員会委員の選任について（中尾哲郎氏）

賛成会派について

賛否が分かれた場合、その議案等に賛成した会派を掲載します。会派の略称は次のとおりです。無所属は姓を表示。なお、議長は採決に加わることができません。

■自民＝自由民主党議員団（光田茂、入江裕二郎、境公司、田中正繁、

塚本二作、徳永春男、西山照清、森竜子、山口雅弘）■公明＝公明党議員団（大野哲也、今村智津子、堀塚敏郎、平山伸二、三宅智加子）

■護憲＝社民・民主・護憲クラブ（古庄和秀、平嶋慶二、平山光子、松尾哲也、森田義孝）■市民＝おおむた・市民党（吉田康孝、猿渡軍紀、田島哲也）■共産＝日本共産党議員団（高口講治、北岡あや、橋

積和雄）■無所属＝城後正徳



■11人が登壇 市長3期目の決意を問う

(代表質問、一般質問)

市議会第5回定例会の質疑・質問は12月16日、19日、20日の3日間でわれ、各会派の代表質問5人を含め11人の議員が登壇し、市長の市政公約2011、帝京大学新

学科の旧ネイブルランド跡地への立地問題、選挙、中学校給食、市民と行政との協働によるまちづくり等の諸課題について、市長をはじめ、執行部に質問しました。

市議会第5回定例会発言者通告一覧

(赤い網掛け)は一問一答制により質問、(ピンクの網掛け)は再質問からの一問一答制により質問、★は8ページ以降に主な内容を掲載

①12月16日 山口雅弘議員 代表質問(自由民主党議員団)



■★今回の選挙結果と今後4年間の市政運営について
■市長の市政公約2011(栄光ある未来への挑戦)について(1)★栄光ある未来に向けて(2)活力と創意にあふれる産業都市(3)いこい、やすらぎ安心都市(4)市民と歩む自立都市 ■教育行政について(1)★東日本大震災被災地の子供たちの姿(2)日本人としての教育

②12月16日 高口講治議員 代表質問(日本共産党議員団)



■市長の政治姿勢について(1)★国政評価、市民生活の現状認識と対策(2)★議会制民主主義の徹底(3)情報公開と共有(4)オール大牟田の市政運営(5)市政公約2011 ■帝京大学新学科の旧ネイブルランド跡地への立地問題について(1)★議会への手続きと情報提供(2)★市の財政への影響と対策 ■RDF発電事業について(1)RDF処理委託料値上げ案への大牟田・荒尾両市の第1・2次意見に対する市長の見解(2)★参加自治体の第2次意見と大牟田リサイクル発電(株)の回答(3)今後のごみ処理計画に関する泉資料の公開と審議 ■★住宅リフォーム助成制度の必要性和効果について

③12月16日 大野哲也議員 代表質問(公明党議員団)



■市長の市政運営方針について(1)★2期目の総括と3期目の決意(2)★市政公約2011(3)推進体制 ■選挙について(1)★候補者選択の参考になる選挙公報(2)投票しやすい体制整備 ■高齢者福祉について(1)★介護保険制度改正と今後の課題(2)だれもが安心して暮らせるまちにしていこうための方策

④12月19日 森田義孝議員 代表質問(社民・民主・護憲クラブ)



■市長3期目に当たっての政治姿勢とまちづくりについて(1)★今後のまちづくりへの投資と市民生活の維持向上(2)財政再建に当たっての地方交付税の評価(3)職員配置適正化方針2011(4)★市民生活の利便性と公共交通システムの整備 ■医療系大学の学科増設について(1)★医療系大学の学科増設に伴う、まちづくりへの効果(2)★医療系大学への土地の無償譲渡 ■世界遺産登録推進事業について(1)今後の事業計画 ■中学校給食について(1)★基礎調査の状況と今後の基本計画等 ■市民と協働のまちづくりについて(1)★地域コミュニティの推進

⑤12月19日 吉田康孝議員 代表質問(おおむた・市民党)



■市民と行政との協働によるまちづくりについて(1)★新栄町の公共施設建設と運営に関する市民参加のあり方と体制整備 ■帝京大学の新学科開設とまちづくりについて(1)市の支援策(2)★新学科開設を生かしたまちづくり ■観光都市実現のためのまちづくりについて(1)★まちづくりプロジェクトチームの発足の必要性

⑥12月19日 光田 茂議員 一般質問(自由民主党議員団)



■★大牟田市の将来へのまちづくりに対する市長の所感について ■安心安全等について(1)消防庁舎建設計画の進捗状況(2)生活道路等の整備(3)市民の交通マナー(4)子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の継続 ■教育委員会の権限に属することについて(1)中学校給食計画の進捗状況(2)学校・学校長の権限等(3)

指定管理者制度の評価(4)スポーツ施設の整備及び総合市民体育館建設計画 ■雇用創出のための地元産業(企業)の育成について(1)官学連携での地元企業の育成

⑦12月19日 塩塚敏郎議員 一般質問(公明党議員団)



■子ども・若者育成支援推進法について(1)市長の見解(2)★子ども・若者支援地域協議会の設置 ■過疎地域自立促進特別措置法について(1)★過疎対策におけるソフト事業に対する市長の見解 ■高齢者雇用問題について(1)高齢者雇用対策(2)高齢者雇用の場であるシルバー人材センターに対する認識

⑧12月20日 平嶋慶二議員 一般質問(社民・民主・護憲クラブ)



■市長の政治姿勢について(1)★今次市長選挙の総括と決意 ■住宅改修による経済対策と安心・安全な住宅づくりについて(1)★住宅改修費への助成制度の創設(2)★住宅耐震改修工事費の補助 ■市営住宅入居者の高齢化対策とコミュニティの活性化について(1)市営住宅の現状やニーズとその対応(2)市営住宅におけるコミュニティ活性化 ■地域における情報通信網の環境整備について(1)★光ファイバー通信網整備

⑨12月20日 塚本二作議員 一般質問(自由民主党議員団)



■他市に負けない大牟田づくりについて(1)★市長の3期目の情熱(政治姿勢)(2)市長としての短・中・長期的優先課題(3)補佐役としての部局等の長の役割 ■財政健全化を追求した来年度予算編成について(1)★市長がとらえる健全財政(2)さらに詰めを要する財政構造強化指針(3)確実な健全化判断目標の確立と中期財政計画の策定及びその各年度の見直し(4)ネイブルランド跡地譲渡関連予算と先行投資(5)中心市街地活性化予算と新栄町駅前地区再開発事業との相乗効果(6)産炭地域活性化基金の割当金の全額獲得 ■雇用の創出と産業振興ビジョンについて(1)雇用問題に関する市長の認識と決意(2)土地開発公社を活用した土地の先行取得(3)雇用創出関連予算への重点配分(4)産業振興ビジョンの策定意義 ■消防団の強化と防火・防災対策その他について(1)団員の任務と宣誓(2)入団者減少の原因と募集努力の実態(3)入団条件の緩和と処遇改善(4)最高指揮官としての市長の決意

⑩12月20日 三宅智加子議員 一般質問(公明党議員団)



■中学校給食について(1)★市長の決意(2)★中学校給食における検討専門委員会の設置 ■災害に強いまちづくりについて(1)女性の視点を生かした防災対策(2)遠隔地の自治体との連携(3)東日本大震災被災自治体への職員派遣(4)小・中学校の防災主任 ■がん対策について(1)★子宮頸がん等予防ワクチンの接種(2)がん検診の無料クーポン事業

⑪12月20日 徳永春男議員 一般質問(自由民主党議員団)



■世界遺産登録の推進について(1)世界遺産登録推進事業の目的とまちづくり ■消防団の格納庫及び消火栓の整備について ■★新栄町地区の再開発構想における具体的な取り組みについて ■インターネットに伴う光ケーブル回線未設置地区の把握とその対策について

代表質問



世界遺産本登録への対応は今のままでいいのか

自由民主党議員団 山口 雅弘議員

問 今回の市長選挙は、投票率が37.5%と過去最低で盛り上がりませんでした。そのような中で当選され、3期目のスタートとなったが、選挙結果をどう受け止め、これから4年間の市政運営を行うのか。

答 投票率低下の原因は、今後の市政運営や政策に係る争点が見えにくかったことに加え、政治への関心の低下もあったのではないかと考えており、非常に残念だ。今後は引き続き、財政構造を抜本的に改善するとともに、まちの再建を目標に、市政公約2011に掲げる具体的な施策や事業を実現し、市民の幸福実現のために誠心誠意、全力を傾注していく。

問 世界遺産登録に向けたポスターやのぼり旗にあるように、「目指せ」と上から目線であるような表現だと盛り上がりず、市民を巻き込む運動には発展しない。市民の気持ちを盛り上げることが大切だと思うが、どのような方法で醸成を図るのか。

答 市民に近代化産業遺産の価値を認識していただき、保存・継承していくべき本市の貴重な地域資源であることを理解してもらうことが一番大事だと考える。さらなる市民意識の醸成を図るためには、三池炭鉱の価値や保存・継承の必要性を十分に理解されるよう、なお一層の広報活動に取り組む必要があると考えており、今後、市主催による地区公民館での説明会を、年度内を目途に開催したいと考えている。

問 東日本大震災の被災地の子供たちが、支援に対し、強い感謝の気持ちを表している。極限状態の中で、「ありがとう」と言えるような子供が義務教育の間に育ってほしいと思うが、所感を聞きたい。

答 本市の学校からも学習用具などを届けたが、被災地の学校から真心からの感謝の手紙などをいただいた。

本市では、22年度より大牟田地域教育力向上推進協議会を中心に、様々な取り組みを行っており、その一環で、他人に対し感謝する心、尊敬する心を育んでいく輪を広げていくために、ありがとうの日の作文を募集し、表彰していくこととしている。



RDF処理委託料の値上げは根拠がなく認められない

日本共産党議員団 高口 講治議員

問 市長の国政評価、並びに議会制民主主義の徹底についての見解を聞きたい。

答 税や社会保障など、国家的テーマに関する発言は控えたいが、税と社会保障の一体改革には期待している。東日本大震災の復興財源としての所得税増税などの臨時増税は、やむを得ないと思う。

議会と行政は独立・対等の関係であり、今後も議会への説明責任を果たしていきたい。

問 帝京大学新学科の旧ネイブルランド跡地への立地は基本的に歓迎するが、議会手続きと情報提供に大きな問題があったことをどう考えているか。また今後、市の財政事情も踏まえた協定書を交わすべきだと思うがどうか。

答 議会手続きで不十分な点があったが、限られた情報と時間の中で、やむを得なかった。今後、整備費約2億6,500万円が必要で、予定していた土地売却分約2億1,000万円も入らないが、施設整備によるもののほか、年間約7億円の継続した経済波及効果も見込める。協定書は、昭和62年の開学時のものをもとに検討中である。

問 RDF発電事業の処理委託料の値上げには根拠がなく、反対する。事業参加自治体の意見書への大牟田リサイクル発電所の回答に対する市長の見解を聞きたい。

答 値上げの理由は、ごみの減少と修繕費の増大である。参加自治体は、修繕費の増大を処理委託料値上げに連動させないことと、会社の経営努力の継続を求め、これに対し会社は、技術検討委員会の再開または参加自治体参加の新組織で対応し、経営改善も継続するとしている。RDF発電は、ごみの広域処理とダイオキシン対策を担うもので、円滑な発電事業運営が重要と考える。



問 地元の中小業者や市民生活をしっかり支える、住宅リフォーム助成制度の実施を求めたいがどうか。

答 需要喚起による消費拡大、生活環境の向上、経済波及効果、雇用の創出などが見込まれる制度であり、24年度予算編成の中で実施の可否を検討している。



世界遺産本登録への取り組みは さらなる市民理解を得る努力を

公明党議員団 大野 哲也議員

問 世界遺産本登録への取り組みについて、市民にはまだその価値や必要性というものが十分理解されていないと感じているが、現状に対する認識を聞きたい。

答 地域懇談会の中で世界遺産本登録の価値や必要性、必要な保存管理計画などの手続やまちづくりへの活用等について説明してきたが、今後も、市民が三池炭鉱の価値や本登録の必要性を十分理解できるよう、さらなる広報活動に取り組む必要があると認識する。



三池炭鉱関連施設(宮原坑)

問 市長の3期目のスタートに当たり、2期目の総括と3期目の決意について聞きたい。

答 危機的な状況に直面している大牟田をよみがえらせたいとの思いで、これまで聖域なき行財政改革の断行による財政の健全化を図りつつ、三大プロジェクトの推進や企業誘致、教育環境の整備など、将来のまちづくりのための基盤づくりに邁進した結果、22年度決算では実質収支の黒字化を図ることができた。今後も財政構造の抜本的な改善と財政規律の確保のもと、さらなる財政健全化等を図りながら、本市のまちの再建を目標に、市民の幸福のために誠心誠意、全力を傾注していきたい。

問 市長・市議選において、候補者選択の参考となる選挙公報を発行してはどうか。

答 県内28市のうち24市が発行している現状であり、様々な課題をクリアしながら前向きに検討していきたい。

問 24年度からの高齢者保健福祉計画第5期介護保険事業計画の課題について聞きたい。

答 後期高齢者の増加などが要因で、要介護・要支援認定者が大幅に増加し、これに伴い、介護給付費も非常に伸びており、来年度からの介護保険料の大幅増が懸念される。このため、要介護状態にならないようにすること、また、要介護状態にあっても、その悪化をできる限り防ぐための介護予防に対する取り組みが、次期計画における重要なポイントであると認識している。



市民生活の利便性の向上と 市民活動補償制度の創設を

社民・民主・護憲クラブ 森田 義孝議員

問 市長3期目における今後のまちづくりへの投資と市民生活の維持・向上について、考えを聞きたい。

答 三大プロジェクトを効果的かつ積極的に活用した企業誘致や既存産業の支援により、雇用創出や定住・交流人口の増加を図るなどして、総合計画に掲げる三つの都市像の実現のため、たゆまぬ挑戦を続けていく。

問 長野県安曇野市では、新公共交通システム『デマンド交通あづみん』、近隣では、八女市で予約型乗り合いタクシー事業が展開されている。高齢化が進む本市においても、高齢になっても安心して暮らせるよう、生活に優しく、暮らしに便利な新しい公共交通システムの整備に向けて、他自治体事業の実態調査及び本市独自の事業展開における調査研究の実施や事業展開に向けた検討を強く要望したい。高齢者などの生活に優しいまちづくりや、市民生活の利便性向上の視点に立った、暮らしに便利な新しい公共交通システムの整備を行う考えがあるか聞きたい。

答 他都市では、ほとんどの自治体で利用率や採算性に課題が生じていることから、地域住民同士の助け合い、支え合いのまちづくりを推進するとともに、庁内の連携をとりながら全庁的に取り組むべき課題ととらえている。

問 帝京大学の医療系学科新設に伴うまちづくりへの効果及び土地の無償譲渡についての考えを聞きたい。

答 経済効果を初め、都市イメージ向上、まちのにぎわい、地域医療などに大きく貢献すると考える。様々な観点にかんがみ、無償譲渡は大学の要請に基づき行いたい。

問 中学校給食の実施に向けた基礎調査の内容を踏まえた、今後の基本計画等の策定について聞きたい。

答 基礎調査の結果等を慎重に吟味し、できるだけ早期に中学校給食実施方針案を策定していきたい。

問 市民活動の促進に向けて、自主的・自発的な公益活動に全市民が安心して取り組める市民活動補償制度の創設についての考えを聞きたい。

答 市民活動をより促進させるための制度内容として、現在、保険の種類や対象、補償内容等を検討している。



市民協働のまちづくりは 段階的にステップアップを

おおむた・市民党 吉田 康孝議員

問 新栄町に建設が予定されている公共施設の運営を市民と協働して取り組む考えはあるか。また、市民と行政との協働のまちづくりに関する各部局の取り組み状況はどうか。さらに、この協働を推進していくために、教育委員会の社会教育担当を市長部局へ移行するという考えはないか。

答 当該施設の運営については、関係部局で管理運営に関する協議を進めており、市民を初めとする様々な主体との協働についても検討している。市民活動サポー



公共施設の建設が予定されている
シマン跡(新栄町)

トセンターの管理運営ということで言うと、直営、指定管理者、市民活動団体等との協働による運営も視野に入れながら、関係部局との協議も行っていきたい。協働に関する各部局の取り組み状況としては、現在、40余りの協働事業を行っており、今後も相互に補完・協力しながら、お互いの強みを生かしていきたい。教育委員会が所管する社会教育担当の市長部局への移管については、同様の自治体もあることから、今後検討したい。

問 帝京大学に新たに設置される新学科の本市への誘致は、本市の医療分野への貢献に非常に期待できるものがあると思う。このことを生かして、今後、どのようなまちづくりをしていこうと考えているのか。

答 同大学とは、これまでも福祉や医療などの分野で連携を図り、大学が持つ知見を広く地域に還元いただいた。今後、地域医療及び地域福祉の充実を初め、さらにまちづくりの可能性が広がるものと考えている。

問 世界遺産暫定リストに登録されるという動きをチャンスととらえ、日本の近代化への道を開いた團琢磨の言うまちづくり百年の計という視点で、市民と行政との協働による観光振興に取り組んでほしいがどうか。

答 今後、観光協会等を中心に、各種団体と市民の参加により、横断的に様々な知恵が出し合えるような研究会等の設置を検討していきたい。



市民ニーズに合致した 予算配分を

自由民主党議員団 光田 茂議員

問 近代化遺産の世界遺産本登録への予算化や、(仮称)中心市街地にぎわい交流施設の建設など、市民が望んでいないことに予算を使うことは、市民理解が得られないように思われる。平成17年度以降、経常経費の枠配分10%カットによる多くの市民サービスの低下を置き去りにしながら、新しい事業に予算をつけるのは順序が違うのではないか。市民が期待しているのは、生活道路や排水溝の整備、民間所有の荒地の整備、安心・安全、学校・社会教育の充実、雇用創出・拡大への投資、そして超過税率を標準税率に戻すことだと思う。このたびの市長選を通じ、市民は何を望んでいると思われたか。

答 信任が得られたのは、栄光ある未来への挑戦として公約に掲げた世界遺産本登録への取り組みや中心市街地活性化、さらには産業振興、子育て支援等の充実、地域コミュニティの再生等を評価いただいたからと考える。



子どもや若者のために 総合的な支援相談窓口の設置を

公明党議員団 塩塚 敏郎議員

問 青少年を取り巻く環境は、急速な少子化の中で大きく変化しているが、様々な悩みや課題を抱える子どもや若者に関係する行政の支援相談窓口は、ワンストップで対応できないのが現状だ。子ども・若者育成支援推進法で設置が求められている総合的な支援相談窓口として、子ども・若者支援地域協議会の設置が必要だと思うが、本市における関係機関との連携状況を聞きたい。

答 児童相談所等の15の機関で構成される大牟田市子ども支援ネットワークや、ハローワーク等で組織する大牟田市雇用問題協議会などを通じて、目的・内容に応じた連携を図りながら取り組んでいる。

問 過疎対策事業債は、対象範囲の拡充でソフト事業(人による支援)に活用可能となったが、見解を聞きたい。

答 幅広く活用できるのはありがたいが、27年度までの時限立法のため、継続的な事業は慎重な検討を要する。



努力と忍耐で閉塞感を打開せよ 市長3期目は「有言実行」あるのみ

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二議員

問 市長3期目の決意を聞きたい。

答 本市のまちの再建を目標に、市政公約2011に掲げる具体的な施策や事業の実現に誠心誠意、全力を傾注していきたい。

問 住宅改修費への助成制度は、経済効果や雇用対策につながるという認識は一致する。住宅耐震改修工事費補助事業も含め24年度予算への反映を要望したいがどうか。

答 同助成制度は、生活環境の向上が図られることなどから、実施の可否を検討している。同じく補助事業も、耐震化促進の一助になると考えており、耐震診断及び耐震改修の啓発を行いつつ、今後検討したい。

問 電子市役所を推進する上で、市民に情報格差があつてはならない。光ファイバー通信網の整備状況はどうか。

答 インターネット未整備地域があることは問題である。まずは実態把握に努めたい。



市民が望む 中学校給食の実現を

公明党議員団 三宅智加子議員

問 中学校給食実施については、12年3月に我が会派で行ったアンケート調査結果を踏まえての要望書提出、16年4月に4万3,880名の署名と要望書の提出等、これまで実現を強く求めてきた。実施に向けての市長の決意を聞きたい。

答 必要性は十分認識している。市政公約にも推進を掲げており、可能な限り早期に実施していきたい。

問 中学校給食を開始するに当たって懸念される、給食費未納の対策について見解を聞きたい。

答 受益者負担の原則と公平性の確保の観点から、小中学校で統一的な未納対策を講じていきたい。

問 子宮頸がん等予防ワクチン接種の24年度以降の取り組みについて聞きたい。

答 恒久的制度として国に要望していくが、継続できないなら、本市独自の対策も検討しなければならない。



他市に負けない 大牟田づくりについて

自由民主党議員団 塚本 二作議員

問 市長の3期目の市政運営に当たり、その決意と情熱、政治姿勢について聞きたい。

答 市政公約2011に掲げる具体的な施策や事業を実現し、市民の幸福実現のために誠心誠意、情熱をもって全力を傾注していく。

問 本市が目指す健全財政について認識を聞きたい。

答 20年度に策定した財政健全化計画の目標は三つあり、①累積赤字を実質収支で黒字化、②抜本的な財政構造の改善、③財政規律の確保、である。①は達成しているが、②と③はまだ不十分である。

昨年9月に財政構造強化指針を策定し、一定の財政健全化の基準として、実質収支黒字化の継続、財政調整基金の一定程度の保有、経常収支比率と実質公債費比率の抑制を基準として示した。引き続き、この目標達成のために努力していく。



新栄町地区の再開発構想における 取り組み状況について

自由民主党議員団 徳永 春男議員

問 新栄町駅前地区市街地再開発事業に対する、新栄町駅前地区再開発準備会（以下「地元準備会」という。）、大牟田商工会議所及び本市による取り組みの状況を聞きたい。

答 市としては、施設計画に関する地元準備会との協議や地元準備会実施の勉強会への参加、市主体の勉強会の開催などを、大牟田商工会議所とともに連携して取り組んできた。しかし、地元準備会の施設計画の取りまとめが遅れていたことから、地元準備会、大牟田商工会議所、本市で現状を確認し合い、今後の進め方として打ち合わせの定例化等を取りまとめ、目標・期限を設定して進めることを確認した。

今後もこのような取り組みにより、再開発事業が実現に向かって進むよう、積極的に指導・助言を行っていきたい。

議員研修

～各種研修会に参加し、資質向上を目指しています～

地方分権が進む中、地方議会には、これまで以上に役割をしっかりと果たすために、監視機能や政策提言機能を高めることが求められています。議員は日頃から、様々な場で研修しており、本会議や委員会が開催されていないときは、先進地視察や議員研修会に参加することで、新たな情報を得て知識を深めています。先進地視察の報告は公開しており、市議会ホームページでご覧いただけます。8月以降は以下の研修会に参加し、議会改革やまちづくりについて学びました。



平成22年度の研修風景

※番号の見方 ①開催日 ②会場 ③本市議会からの参加人数 ④演題 ⑤講師 ⑥研修内容等

福岡県市議会議長会研修会



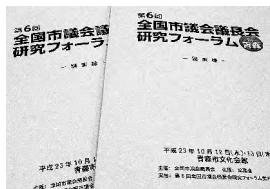
①8月24日 ②久留米市 ③15人 ④「地方議会の役割と議会改革」「環境・エネルギーとまちづくりのデザイン」 ⑤廣瀬和彦氏（全国市議会議長会法制参事）ほか ⑥総合計画や予算編成への議会意見の反映の仕方や、「もの」「こと」「ひと」の観点で先進的な取り組みを進めるまちの紹介について

全国都市問題会議

①10月6、7日 ②鹿児島市 ③7人 ④「3.11からの復興と安全なまちづくり」「九州新幹線とまちづくり」 ⑤唐池恒二氏（JR九州代表取締役社長）ほか ⑥地元が自ら復興の担い手となる被災地主導の復興の重要性、都市の魅力の3要素「安心・安全」「歩く楽しさ」「食とお土産」について



全国市議会議長会研究フォーラムin青森



①10月12、13日 ②青森市 ③12人 ④「二元代表制と地方議会改革」ほか ⑤増田寛也氏（元総務大臣） ⑥ますます求められる地方議会の役割と責任、進む市民参加と地方議会のあり方、先進地域の取り組み状況・課題などについて

福岡県町村議会議長会広報研修会

①11月22日 ②福岡市 ③2人 ④「議会だより作成のポイント」 ⑤城市創氏（城市創事務所） ⑥県内町村の議会だよりをもとに、具体的な作成のポイント、留意点などについて



田島哲也議員が逝去

田島哲也議員は、病气療養中のところ、1月17日に逝去されました。葬儀には議会・行政関係者をはじめ、多くの方が参列し、故人のご功績をたたえ、ご冥福を祈りました。

インフォメーション

■次の定例会は2月16日から3月19日までの予定です

詳細については、議会事務局までお問い合わせ下さい。また、ホームページでもお知らせしています。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）、または市民生活課（2階）奥の階段からお上がり下さい。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問した議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧下さい。2月中旬から閲覧できます。また、ホームページでも2月上旬から閲覧・検索ができます。

編集後記

「おおむた市議会だより」と名称をかえ、3回目の発行となりました。表紙の写真はいかがでしょうか。せっかく1番目立つところなので、大牟田の見所や特産物などを少しでもPRできるような工夫をしようと思い、毎回、頭を悩ませて選んでいます。私たちもさらに広く、深く大牟田のことを学びながら、新しい発見や魅力を紹介していければと思います。市民の皆さんからの情報提供も大歓迎です。よろしくお願い致します。（R）

■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子

【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800

FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp